

大阪府原子炉問題審議会
平成22年8月17日
京都大学原子炉実験所

ホウ素中性子捕捉療法について

熊取町・大阪府・京都大学の3者による「熊取アトムサイエンスパーク構想」の柱の一つであるホウ素中性子捕捉療法（中性子を利用したがん治療法）の実用化に向け、取り組んでいます。

KURは、5月26日に文部科学省による施設定期検査に合格し、5月28日には医療照射を行い、その後も順調に実施してきています。

また、イノベーションリサーチラボ棟に設置したホウ素中性子捕捉療法用に特化した加速器の各種調整作業を続けるとともに、出来るだけ早く治験を開始したいと考えており、関係機関等と調整しています。

なお、昨年10月28日、ホウ素中性子捕捉療法の実用化に向けた諸課題について産学官で検討する「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）研究会」（事務局：大阪府、熊取町、京都大学）を設置しました。現在、医療に関する連携推進、人材育成、地域振興等の課題について、ワーキンググループにおいて検討を進めています。